

## 第10回 全日本小中学生ロボット選手権 FAQ（中学生部門）

Q. 1 コントローラの4ch目を使ってモータ数を増やしてもよいでしょうか？

A. コントローラは4ch 対応になっていますので、使用するのは可能です。

Q. 2 競技で使用するブロック(光洋産業(株)発泡ポリスチレン製)の購入先を教えてください。

A. Seria 販売店で購入できます。

Q. 3 5. 競技の進行④建設エリアのフェンスは触れても良いとなっていますが、触れて良いのは側面のみでしょうか？ 上面は触れてはいけないのでしょうか？

A. 建設エリアのフェンスに触れても良いのは側面のみです。上面に触れている場合は、積んだブロックと認められません。

Q. 4 リトライの再スタート時に、スタートエリアから一部はみだしても良いということですが、一部だけ入っていればよいのでしょうか？

たとえば、分離型のロボットの場合、両者はコード等でつながっていれば、ブロックを回収するロボットはブロックエリアに残ったままで、ブロックを積むロボットのみがスタートエリアに戻ればよいのでしょうか？

A. ロボットは、スタートエリアに一部だけでも入っていれば良い。

なお、分離型(コード等で繋がっている)のロボットの場合は、両方ともスタートエリアからの再スタートとなります。

Q. 5 ロボットを分離(コード等でもつながっていない)させてもよいでしょうか？

たとえば、コントローラからの信号を XBEE など飛ばして、離れたロボットを操作させてもよいでしょうか？

A. コントローラの改造をしていなければ、コード等で繋がっていない分離型のロボットも認められます。

Q. 延長戦の際、ブロックは任意のブロックエリアに一個置くがあるが、そのブロック  
6 はブロックエリアに完全に入っていないといけないのでしょうか？  
また、別のブロックの上に積んで置くということは可能でしょうか？

A. 延長戦の場合、ブロックエリアABとも残っている全てのブロックを取り除き、  
選手は任意のブロックエリアに1個置いて試合を始めます。ブロックはブロッ  
クエリアからはみ出してはいけません。また、別のブロックの上に積んで置く  
こともできません。

Q. 進入禁止ゾーンには上空も含めて入ってはいけないのでしょうか？  
7 上空は進入可の場合、互いのロボットが上空に進入し、接触した際はどちらか  
の違反行為となるのでしょうか？

A. 進入禁止ゾーンには、上空も含めて入ることはできません。

Q. ロボットが進入禁止ゾーンに入ることなく、送風などによって相手ブロックの建  
8 設を妨害することは違反にはなりませんか？

A. 送風による妨害は、重大な違反行為に当たり失格とします。

Q. 自チームのブロックを飛ばして、相手チームのコートに入れた場合はどのように  
9 なるのでしょうか？

A. 自チームのブロックを飛ばすような意図的な行為でブロックを相手コートに入  
れた場合は、重大な違反行為に当たり失格とします。

Q. 進入禁止ゾーン以外の上空については、ロボットや材料が上空ではみ出しても  
10 違反にはなりませんか？

A. 自コート of 進入禁止ゾーン側以外の3辺に関しては、ロボットや材料が上空  
をはみ出しても反則にはなりません。

Q. 11 ロボットに駆動用・制御用としてバッテリーを追加するのは、ロボットの改造として許されるのでしょうか？

A. 競技ルール「8. ロボット④において、使える電池は、市販されている単1型2本とする。」となっており、動力源となる電池の使用はコントローラの電池のみとなり、それ以外の追加は認められません。また、装飾用として使用するための、電池の追加も認められません。

Q. 12 競技中、コート内(スタートエリア及びブロックエリアA, B以外)に、何かしらの原因でブロックがある(ブロックを運ぶ途中、落とした等)状況で、ロボットとリモコンを繋ぐケーブルが故意ではないが、ブロックに接触して、ブロックの位置や方向が変わった場合、なにかしらのペナルティーになりますか？

A. 故意でなければ、競技ルール「7. 反則・失格①の・ロボットを使わず他の方法でブロックを運んだり積んだり、制御用のコードを引っ張ってロボットやブロックを動かした場合。」に該当しません。

Q. 13 ロボット本体へ、トランジスタやコンデンサ等といった電子部品を装着して、ロボット動作や装飾等の制御をする事は認められますか？  
コントローラの改造は行いません。

A. コントローラへの改造を行わないのであれば、ロボット本体への電子部品の装着は可能です。

Q. 14 ブロックの高さでの勝敗判定は、実測ですか？  
その場合、ブロック個体の誤差は、どう判定するのですか？

A. ブロックはすべて同じ規格としており、ブロック単体の誤差で差が出ないよう、実測ではなくブロックの向きと個数による高さ判定を行います。すなわち、ブロックが同じ向き、同じ個数での積み上げであった場合は、同じ高さで判定します。

